

「みんなの拍手」

これまで毎日のお気に入りのおもちゃを持って登所していた3歳児のMくんが、小さな声でつぶやきました。

ぼく、おもちゃを持ってこんだよ...



ほら!



本当、Mくんがかっこいいね!

パッと開いた手には、いつものミニカーがありませんでした。

Mくん、すごい!



かっこいい!

パチパチ

クラスの子どもたちみんなが、Mくんに大きな拍手を送ってくれました。

思いがけない出来事に戸惑っていたMくんの表情が

だんだん和らいできました。

じわーっ



みんながぼくに拍手してくれた...

みんなに認められた喜びがMくんの笑顔から伝わってきました。

家からおもちゃを持ってこなくても、好きなあそびを楽しむようになったことを、「大きな力」のひとつとして認め合っている子どもたちの姿に胸が熱くなりました。そしてこの経験は、Mくんの気持ちを大きく動かすきっかけになりました。(270へ続く)

「みんなと一緒にする」

これまで一度も、お面や衣装を身に着けようとしなかった、3歳児のMくんが踊りの衣装を手に取りました。

Mくんも着る?



うん!



5歳児の子どもたちとの「おわかれ会」で披露する踊りの列に加わったMくんは、張り切ってステージに立ちました。



音楽が流れると、今まで、みんなの練習する様子を見ていただけだったMくんが、リズムに合わせて、元気に踊り始めました。



友だちと一緒に出来たことが自信につながり、Mくんの表情は、生き生きと輝いていました。

みなさん、お食事の時間ですよ。えっ?! Mくん、片づけのお知らせしてくれるの? ありがとう。

みなさん、お片づけしましょう!



深い感動を感じる、子どもたちの姿でした。